

くらし・福祉を
ささえるまちへ



子育て応援します



北野 のり子だより

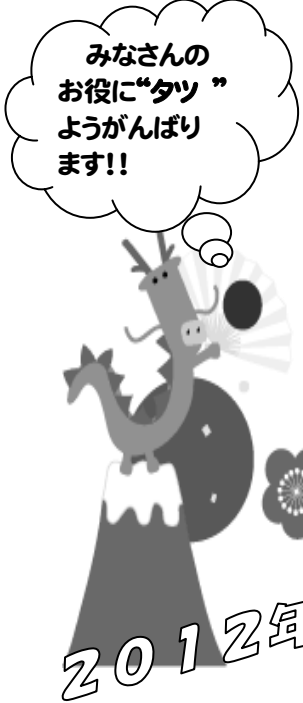
市議員団控室 ㉿740-1811

日本共産党川西市委員会

川西市平野2-1-3

㉿792-2164

北野のり子の活動をお知らせ
しています。



みなさんのお役に“タツ”
ようがんばります!!

2012年

今年も引き続き、みなさまの要求・要望の声をしっかりと市政に届け少しずつでも実現させるよう全力でがんばる決意です。どうぞ、よろしくお願いいたします。
新しい一年がみなさまにとって、飛躍の年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

市議会議員となり1年2カ月、みなさまのご支援・ご協力をいただきながら、議会活動に力をつくしているところです。
昨年の議会では、ごみステーションに関する問題、住宅リフォーム助成制度の創設、介護保険制度充実等、一般質問で取り上げました。また、地域ではごみステーションの設置や植木の伐採、騒音問題等、地域住民のみなさんと力を合わせ、身近な問題の解決にも取り組みました。

謹んで新年のお慶び申し上げます



(第30回川西一庫マラソン大会 2011.11.20)

12月議会の報告

11月29日～12月22日の24日間、12月定例議会が開催され、私は12月7日に一般質問を行しました。主な内容についてご報告させていただきます。

介護保険法等改正と

第5期介護保険事業計画について

昨年6月15日、衆議院・参議院合わせて18時間というわずかな審議時間で「介護保険法等改正法」が可決・成立しました。私たちに内容のほとんどが知らされないまま4月の実施に向け検討。

今回の「改正」の最大の特徴は、「地域ケアシステムの実現」を前面に掲げ、その第一歩として足を踏み出した点にあり、介護・医療制度改革全体の流れに深く関わる内容を含んでいます。この見直しが老後も安心して暮らし続けられる介護や生活支援を国民に保障するものなのか危惧しているところでは、これを受け市でも平成24年度～26年度の3カ年に渡る「第5期介護保険事業計画」の策定作業が進められています。

【質問】「介護予防・日常生活支援総合事業」について
総合事業が導入されると要支援者の受給権侵害、法令上の基準がないことから安上がりで不十分なサービス内容になる可能性がある。導入は避けるべきではないか。

(回答) 本市としては、介護保険事業特別会計への影響、本事業で提示する見守り事業等の範囲、利用者にとっても長所、短所を引き

続き検討する必要がある、もうしばらく導入については検討・研究を進めていきたいと考えている。

【質問】「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」について
24時間、重度者をはじめとした要介護高齢者の在宅生活を支える介護になり得るのか疑問が残る問題も多いと考えるが、見解を伺う。

(回答) 認知症高齢者への対応や定期巡回の適切な回数等、導入にあたっては、多くの課題がある他、本市の人口規模において利用対象者が少ないと見込まれることから広域的な対応を今後の検討課題と考えている。



【質問】介護職員等による「たん
吸引等の解禁・拡大について
介護職員による医療行為が合
法化されたことについて。
事故の責任と安全性の確保に
ついて。

【回答】市としては、事故の責任
と安全性を確保するために当該
事業所を把握し、県と合同で実施
している指導監査及び指導にお
いて適正に運営されているか点
検・指導を行う。

医療の実施に対しては、医師や
看護職員等の連携体制の確保、密
接な役割分担に課題があると考
えている。

【質問】「第5期介護保険事業計
画」に高齢者の実態、住民要求を
反映させることについて。

【回答】昨年8月、要介護認定を
受けていない65歳以上の高齢者
並びに要支援、要介護1、2の認
定を受けている方それぞれ千人
を抽出、日常生活圏域ごとの高齢
者の生活実態や介護ニーズを把
握した。さらに6月、二次予防事
業者の対象者を把握するための
悉皆調査を実施しておりその結
果も計画策定に反映させていき
たいと考えている。介護保険運営
協議会には、公募による市民の参
加、今後の計画案をパブリックコ
メントに付する予定である。



【質問】介護保険料について。
財政安定化基金、介護保険準備基
金を取り崩し、保険料引き下げに
充てるべきではないか。

【回答】国では、第5期介護保険
料の設定にあたり全国で月額、五
千円を超える市町村が多く出る
ことが予想されている点に鑑み
財政安定化基金の取り崩しの方
向性が示されているものの現時
点で詳細が提示されていない。市
としては、所得段階での細分化、
介護保険給付費、準備基金の取り
崩し、活用による保険料の抑制に
ついて検討している段階であり
本日、具体的な保険料見直しを、
お知らせすることはできない状
況である。

【質問】第5期介護保険事業計画
策定の進捗状況と今後のスケジュ
ールについて。

【回答】介護保険運営協議会にお
いて計画内容を審議している最
中であり審議終了次第、市におい
て計画素案を策定し市議会での
協議を賜りながらパブリックコ
メントを受けて提案としていき
たいと考えている。

【質問】緊急通報装置の
貸与について。

【回答】対象者の拡大について、
第5期介護保険事業計画、高齢者
保健福祉計画策定中であり、計画
中に対象者について言及する予
定。高齢化に伴い緊急通報装置を
必要とする一人暮らし高齢者は
増加することが予想されること
から日中一人暮らしの高齢者へ
の対応も含め検討していきたい
と考えている。

【質問】「救急医療情報キット」が
配布されているが、より安心を得
るため今後、緊急通報装置とセッ
トで配布を検討することを考える
べきではないか。

【回答】救急医療情報キットにつ
いては、民生委員の協力を得、65
歳以上の一人暮らし高齢者の自
宅を訪問し無償で配布する予定。
一方、緊急通報システムの貸与に
ついては現在、利用者負担があり
救急医療情報キットとのセット
での配布は出来ないが、両方の事
業を利用することで緊急時に対
応できる手段が増加するととも
に高齢者の安心感を得ることか
ら利用者の希望に応じ対応した
いと考えている。



安心できる
介護保険制度を
めざしガンバリマス！

介護保険がスタートして11年、負担増
やサービスの切り捨て、介護報酬削減等
が、繰り返されてきました。高すぎる介
護保険料、利用料負担が重くのしかかり、
必要なサービスを受けることができない
事態が深刻化しています。こうした中、
さらに「税と社会保障の一体改革」の名
の下、介護保険では、給付費削減（要支
援の利用料1割から2割負担、ケアプ
ラン有料化、一定所得以上の利用料1
割から2割負担。施設2〜4人部屋の
室料負担増。施設低所得者向け負担軽
減を制限、施設入所者の要介護1、2
の利用料負担増を通常国会への法案提
出に向け検討するとしています。
安心できる介護制度にするためにもこ
のような大改悪に反対し、保険料・利用
料の減免、基盤整備の推進、国庫負担増
の改革をめざし、声をあげていきたいと
思います。

*パブリックコメント実施

市では、「川西市高齢者保健福祉計画・
第5期介護保険事業計画」素案について
みなさんの意見を募集しています。（1月
27日まで）ぜひ、みなさまの思いを市に
届けてください。詳しくは、広報かわに
し1月・市のホームページに掲載されて
います。

— 3月定例市議会の日程 — ぜひ、傍聴にお越し下さい。10時～スタートです。

2月22日（水）～3月26日（月）

◆総括質問：2月29日（水）・3月1日（木） ◇一般質問：3月2日（金）・5日（月） ◆常任委員会：6日（火）～8日（木）